

しょうさいろんてん  
＜詳細論点③～現金過不足とは～＞

会社をはじめてから、毎日仕訳をきっていた店長。

あるとき、スーパーの現金を集めてみると、500円しかない。でも帳簿（現金の総勘定元帳）では、600円となっている。

さて、**100円**はどこに消えてしまったのだろうか？？

まずは、実際の残高に合わせるために、むりやり、現金を減らす仕訳をします。

**現金過不足 100 / 現金 100**

そして、決算日（1年間の最後の日）までに原因が分からなければ、雑損益（例題では雑損失）として処理します。

**雑損失 100 / 現金過不足 100**

もし、原因がわかった時（たとえば、電気代 100 円の仕訳漏れ）は、現金過不足を適切な勘定科目に振り替えます。

**水道光熱費 100 / 現金過不足 100**